



# 前橋に「平和資料館」を 吉田なおひろさんに期待します

## 平和を語りつぐ

元あたご歴史資料館 原田 恒弘

11年ほど前、南橋9条の会の皆さんを中心に、「前橋に平和資料館設立をめざす会」が設立されました。その目的は、あの戦争、前橋空襲は何だったのか。「命の尊厳」を後世に伝えるとても大切なことなのです。

そして昨年、前橋市に「前橋空襲を語り継ぎ、平和資料を収集展示の形の検討会」が設立されました。市民や有識者を交えて検討が行われていますが、その実現が待望されています。

## 子どもたちの未来の光に。

元小学校教員 森 和恵(三河町)

前橋空襲は悲惨だった。広島・長崎の原爆投下は悲惨だった。

家が焼かれ、友だちが焼かれ、前橋の街は灰の街になった。たった一晩で、父や兄や叔父や従兄弟が戦死して悲惨だった。

復員してきた父は、骨箱に石ころの一つと変わり果てて帰ってきた。

復員してきた父は、片足、片腕になって帰ってきた。

復員してきた父は、PTSD(心的外傷後ストレス障害)になっていた。戦場は語らず、貝のように口を閉じたまま「俺は死んだことにしてくれ」と半年も布団から出てこられなかった。

敗戦後 市民は考えた。「あの戦争は、何だったのか」と…

徴兵で、志願兵で、人殺しにされた75年前の軍人たち

米もなく、お菓子もなく、栄養失調で亡くなっていった子どもたち。

戦争体験者が一人、二人と星となって他界していく。

「戦争はいやだ。戦争反対！」大人から子ども達に「戦争と平和の時代を」語り継ぎたい。

戦争の記憶を伝え、考えあう場所、そこが「平和資料館」

「平和資料館を前橋の街に建てよう」

教育の街、文化の街として誇りある前橋市に。



## 吉田なおひろ

## プロフィール

1978年埼玉県春日部市生まれ。昭和鉄道高校、共栄学園短大卒 ●証券会社、埼玉医労連、司法書士事務所勤務。現在、党前橋地区常任委員。●箱田町在住、家族は妻。